

# 9月りんご生産情報



令和6年9月5日発行  
J A つがる弘前  
岩木地区営農係

つがるの収穫時期となっていますが、例年より熟度が進んでいることから、鮮度感のあるうちに収穫を終えましょう。また、9月に入ると中・晩生種の着色管理が始まりますが、適期・適度の葉摘み作業で、高品質りんごの生産に努めましょう。また、褐斑病などの被害葉は見つけ次第摘み取り適切に処理しましょう。

## ○肥大状況について（9月1日現在：単位cm）

地点	ジョナ		王林		ふじ	
	本年	昨年	本年	昨年	本年	昨年
小沢	8.3	8.2	7.9	7.7	8.0	7.3
五代	-	-	7.5	7.9	8.4	7.7
百沢	8.3	7.8	7.5	7.3	7.7	7.1
東目屋	7.8	7.4	7.3	6.8	7.8	7.2
西目屋	7.9	7.8	-	-	8.2	7.1
農協平場平年値	8.4		8.0		8.4	

肥大状況は全品種とも平年を上回っております。

## ○落果防止剤ヒオモン水溶剤について【ヒオモン水溶剤 倍数2,000倍 展着剤不要 収穫21～4日前】

以前より『紅玉』、『世界一』など収穫前落果が起きやすい品種にヒオモン水溶剤の散布を勧めていましたが、昨年のような異常な高温の場合、トキやひろさきふじなどの品種も収穫前落果が発生する可能性があることから、落果が見られた場合には散布が必要となります。

品種	散布時期
紅玉・世界一	収穫14日前頃、従来通り9月下旬に散布
トキ・ひろさきふじ・早生ふじ ジョナゴールド・シナノゴールド	異常高温による落果が見られ始めたときに散布

昨年発生した有袋ジョナの早期落果(8/下～9/上)は、袋内で発生する高温障害のため落果防止効果は期待できません。

## ○摘葉剤ジョンカラープロの使用方法

葉摘み省力資材として近年使用者が増えています。上手に使用できれば3～4割の省力化が期待できます。

品種	希釈倍数	散布量	使用時期	収穫前日数	展着剤
サンふじ 有袋ふじ	500倍	250リットル /10a	収穫40～50日 (9/10～9/20頃)	30日前まで (落果品も含む)	ササラ2,000倍 果面汚染の低減

- ドリフト防止および過剰落葉を軽減するためスポット散布を基本とします。
- 散布後5日間の最高気温が24以上で効果が高くなります。

## ○葉摘み作業

ひろさきふじ ... 熟度が進むと着色が進まなくなるため、9月5日頃を目安に着色管理を始めましょう。反射シートは葉摘み終了後1～2日後に敷きましょう。

ジョナゴールド ... 除袋前の葉摘みは行わず、9月半ば頃から始め、果実に付着している葉を摘む程度にしましょう。

## ○除袋作業目安

○世界一 9月上～中旬 ○ふじ、ジョナ 9月中～下旬 ○陸奥 9月下～10月上旬

除袋作業は日焼け対策として、果実温度が上がる午前11時～午後3時頃、青天日の午後または曇天日に行うのが理想です。

## ○すす点・すす斑病対策

散布時期	薬剤名	倍数	1,000薬量	備考
9月中旬	ストライド顆粒水和剤	1,500倍	333g×2袋	黒星病も同時防除できます

## りんご出荷者の皆様へ

りんご栽培履歴をまだ提出していない方は支店窓口へご提出ください。9月以降に農薬散布をした場合は、窓口に特別散布報告書を用意しておりますので、記入の上ご提出ください。